

9月26日(金)

13:30~16:0

総合保健福祉センター

多目的ホール (内郷高坂町四方木田 191番地)



今、求められる支援に何が必要か?

~多機関・多職種・多分野協働~



- ●支援にあたられて いる関係者
- •医療、高齢者、介護
- ・ 障がい
- ・こども子育て
- ・行政機関など



- ●QRコード、URLに アクセス
- ●申込期限9月19日(金)
- ●60名程度



●QRコード



OURL

https://logoform.jp/f/9HS1g

お問い合わせ ・ いわき市保健福祉課地域共生社会推進係



プログラム

		テーマ	講師
	第Ⅰ部	「&」から始める包括的相談支援 と多機関協働	いわき市保健福祉課
•	第2部	支援者に求められる コミュニケーションスキルとは	片柳光昭 先生 ふくしま心のケアセンター 避難地域支援センター長



講師紹介

_ 片柳 光昭(かたやなぎ みつあき)

- ・1973年生まれ。神奈川県平塚市出身。
- •精神保健福祉士、公認心理師、社会福祉士。
- ·東北大学大学院医学系研究科医科学専攻(災害精神医学分野)博士課程修了(医学博士)。
- ・東邦大学医療センター大森病院、横浜市総合保健医療センター地域精神保健部を経て、平成24年3月からみやぎ心のケアセンターに所属。令和7年4月からふくしま心のケアセンター被災地域支援センター長として、東日本大震災後の被災地で子どもから高齢者、および支援者の心のケアに従事している。
- ・併せて、せんだいG&Aクリニックにて、トラウマや生きづらさを抱える10代の若者や、SNS、ゲーム、アルコール、薬物などの依存症患者に対するカウンセリング業務に従事している。
- ・SST普及協会認定講師、PEERS認定指導者、日本集団精神療法学会認定グループサイコセラピスト、日本心理教育家族教室ネットワーク認定インストラクター。



研修内容

今回の研修では、これまで関りの少なかった分野にも対応できるようなコミュニケーションスキルを学びます。一人ひとりが「これならできる」「こうしてもらいたい」と考えたり、担当でない分野の制度や視点を意識したり、これから実現していきたいことや可能性について楽しくディスカッションも行います。そして、これまでを少し「超える・つながる」ような+1歩のアクション「&」をみんなで積み重ねることで、地域全体が安心して共生できる社会、いわきの「安堵⇒安心」を目指していきます。

